

三協精器工業 株式会社

多産業を支えるスプリングは
米粒大から
航空機で空を飛ぶものまで

大小さまざまなバネは、手のひらに入る精密機器から、航空機までを支える

「ものづくり」と
「ひとづくり」から
企業創造性は生まれる

創業以来、一貫して金属製スプリングの製造を行ってきた三協精器工業。自主独立を理念に掲げ、高品質な製品を維持、製造することで『誠実供給』し、精密性、耐久性などの『安心品質』を貫き、本来の適正な『満足価格』のもと、顧客との相互関係を築いている。

「我々は『安・正・早・楽』を提供している会社です」そう言い切る同社。安・安心、正・正確な品物、適正な価格、早・早い対応、楽・お客様が楽で、楽しく取り引きできるということだ。メーカーは、製品のみを販売すると思いがちだと言う。しかし、同社では、確かな製品と、そこに付帯するさまざまなサービスが総合的に提供できてこそ、企業であるとの考えが明確化されている。

そんな企業姿勢が実を結び、高品質性を求められる航空機産業をはじめ、自動車、農業機器等、さまざまな分野に販路は広がりを見せている。

では、さまざまなサービスを提供するためには、どのような人材育成を行っているのだろうか。「製品技術を磨く事と同じように、人材を磨くことは本当に重要です。例えば工場の上を飛び飛行機に、私達の部品が使われている…なんて素敵ではないですか？だからこそ、航空機産業に参入すると決めた。そんな事が社員の自信に繋がり、モチベーションを上げるんです」と目を輝かせる赤松社長。

商品力に磨きをかけると、人にも磨きがかかる。「ものづくり」と「ひとづくり」が一体となり、自社独立の理念を体現できるということのようだ。



検査・解析を行う「ユニバーサル測定顕微鏡」

自分達のつくるものに
真摯に向き合う
それが高品質を維持する力

微細なものなら、カメラなどの精密機器に使用される米粒よりも小さいバネの加工が可能な同社。その品質維持、管理のため、工場内では製造機器のすぐ側にある独自の品質検査機で、常にテストが行われ製品を管理。また、工場の一角には、研究室を思わせるガラス張りの検査室を配置。工場全体からも見渡せるエリアで、製品のデータ解析が行われている。

そんな真摯な姿勢の中、「バネ」は日々成長を遂げているのだ。「製品のデータ解析を製造側で明確にしておけば、それ自体が信用に繋がり、商品価値を上げ、マーケティングツールとして効果を発揮する」という。高品質を維持する事は、高性能を求めるマーケットに拡がり、高品質・高コストという図式を覆すことにもなった。

確かな商品力の上に、誠実なサービスを構築する。そんな三協精器工業は社会とバイラルにリンクし、さまざまな産業を支えている。

Company Profile

三協精器工業株式会社

JIS Q 9100

ISO 14001

ISO 9001

大阪22

住 所 〒533-0006

大阪市東淀川区上新庄3-19-75

T E L 06-6322-2931

F A X 06-6325-2237

創 業 昭和16年8月

資本金 4,800万円

従業員 92名(関連会社含 104名)

代表取締役社長 赤松 賢介

■主な事業内容

金属機能部品製造・販売

■主な取引先

自動車、農機具、航空機、OA機器の各メーカー

<http://www.sankyo-seiki.co.jp>
他社には
負けない当社のものづくり
セールスポイント

多くの産業を支える“縁の下の力持ち”
そんな企業でありたい

代表取締役社長 赤松 賢介 さん



常に新しい製造技術を追求め研鑽しています。お客様の視点に立ったものづくりを行い、サービスを提供する。それが、誠実に楽しくお取引できることと考えます。目立つ部品ではないからこそ、高品質でありたい。その為には努力を惜しみません。